

令和7年10月

成田営農経済センターだより

TEL : 0465-38-0131

【温州みかん】

病虫害防除

病害虫防除 * 下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

9月下旬~10月中旬

○カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍	50 g / 水 100 ㍺	収穫前日 3 回	又は
	ロディー乳剤 (劇)	2,000 倍	50ml / 水 100 ㍺	収穫 7 日前	4 回

10月下旬~11月上旬

○ハダニ類	オマイト水和剤	750 倍	133 g/水 100 ㍓	収穫 7 日前	2 回
-------	---------	-------	---------------	---------	-----

サビダ二類

11 月中旬旬

○貯蔵病害 ベルクートフロアブル 2,000 倍 50ml/水 100 ㍓ 収穫前日 3 回

(青かび病、緑か	トップジンM水和剤	2,000 倍	50 g/水 100 ㍓	収穫前日	5 回
----------	-----------	---------	--------------	------	-----

び病) (ベルコートフロアブルとトップジン M 水和剤を併用するとより効果があります)

※昨年まで使用してきたベフトップジンフロアブル（ベフラン＋トップジン M）は、2025 年 10 月に農薬登録が失効します。11 月以降は在庫のベフトップジンフロアブルも有効期限が切れているため使用できません。

※秋に発生したミカンハダニは果実に移動し着色不良の原因となりますので散布ムラのないように防除しましょう。

浮皮輕減

蚩尻期

○フィガロン乳剤 3,000 倍 33ml/水 100 ㍓ 収穫 7 日前まで 2 回 散布量 300 ㍓/10 a
1 回目 蛭居期に散布 2 回目 蛭居期の 2 週間後

* 7～8月にフィガロン乳剤を散布している園や、樹勢が低下している樹には散布を控えましょう。

摘 果

大津・青島は大玉になりやすいので、収穫に向けてそれぞれの樹の着果量に応じ、不良果実を摘果します。（スソ、フトコロの果実から実施し、上部の天なりの大玉は最後に摘果します）

【中晚柑】

病虫害防除

基本防除は上記、温州みかんの項を参照して下さい。

施 肥

10月下旬

○秋肥 特選みかん配合 655 100kg/10a (果実内容の向上・樹勢回復のため)

＊ 中晩柑の防除における農薬の使用日数・使用回数には十分に注意しましょう。

【レモン】

10月下旬～11月上旬 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

○ハダニ類	オマイト水和剤	750 倍	133 g/水 100 ㍓	収穫 14 日前	2 回
-------	---------	-------	---------------	----------	-----

サビダ二類

施 肥

10月下旬

○秋肥 特選みかん配合 655 100kg/10a (果実内容の向上・樹勢回復のため)

【キウイフルーツ】

病虫害防除

10月上旬 果実軟腐病・貯蔵病害

□ブラール水和剤 1,500 倍 66g/100 ㎡ 収穫前日 4 回

施肥

樹勢回復のために9月に分肥した残り分キウイフルーツ配合40kg/10aを10月中旬に施肥します。9月の施肥を行っていない方はキウイフルーツ配合100kg/10aを10月中旬に施肥しましょう。

【う め】

施肥

○土壌改良 10月上旬 苦土石灰 200kg/10a

○秋肥施用 10月中下旬 梅配合 120kg/10a

病虫害防除 10月上旬～11月上旬

2週間間隔で2回

○かいよう病 多発園ではICボルドー66D 50倍 2kg/100㎡ 葉芽発芽前まで

※カイガラムシの防除のためアタックオイルを散布する場合は、ICボルドーと混用せず、散布間隔を2週間以上空けてください。

【か き】

収穫

かきの熟度は色で判断します。着色期にも肥大しているため、品種特有の色が十分に現れるまで着色させてから順次収穫しましょう。

施肥 収穫を始めた頃

○礼肥 柿配合 50kg/10a 苦土石灰 100kg/10a

樹勢の回復と翌年の花芽充実と、着蕾を促進させる大切な肥料です。施肥が早すぎると果実の成熟が遅くなり、逆におそいと吸収されにくくなります。果色が緑色から黄色に変わる頃を目安に、極早生種は9月下旬～10月上旬、富有や次郎では10月下旬頃行いましょう。

【水 稲】

収穫のポイント

収穫適期は気温や圃場ごとの生育状況から総合的に判断しますが、**最終判断は籾の黄化程度によって決まります。葉や枝梗が青くても、穂が以下の状態であれば収穫適期となります。**(枝梗の黄化が進んでいなくても籾は成熟しています) また、遠目からの見た目では判断せず圃場近くで籾の状態を確かめましょう。

目安	品種	黄化した籾の割合
	はるみ・てんこもり・キヌヒカリ	85%程度(青い籾が15%程度残っている)
	さとじまん	90%程度(青い籾が10%程度残っている)

※「はるみ」は、穂発芽しにくいからといって収穫時期を遅らせない

※収穫期の籾水分は22～26%目安。20%以下になると胴割粒が増えやすくなります。

適期に収穫し、刈り遅れには特に注意しましょう！

刈り遅れは穂発芽や胴割粒、着色粒の発生を助長します！

スクミリンゴガイ対策

今年度も発生拡大を阻止するため、水田では収穫後必ず耕耘(速度はゆっくり、ロータリー回転は速く)を行い、貝を傷つけ越冬させないようにしましょう。また、水路や排水溝なども越冬場所となるので、捕殺、清掃を必ず行いましょう。**(※捕獲した貝は道路等には捨てないようにしましょう。)**